

立花隆（本名：橘隆志・享年80）が4月30日に死去いたしましたので、ここに生前のご厚誼を深謝し、謹んでご通知申し上げます。

葬儀は家族のみにて済ませました。

故人の略歴等につきましては、下記ネット上のお別れのページをご覧ください。

また故人にお別れをされたい方につきましても、コロナ禍の現状から、下記お別れのページ内にて故人へのメッセージをお受けする形で行わせていただきます。

記

1. 氏 名 : 橘隆志（筆名 立花隆 たちばなたかし）
2. 逝去日時 : 2021年4月30日（金） 23時38分
3. 事 由 : 急性冠症候群（きゅうせいかんしょうこうぐん）

長年 痛風、糖尿病、高血圧、心臓病、がんなどの病気をかかえ、入退院を繰り返してまいりました。一年前 大学病院に再度入院しましたが、本人が検査、治療、リハビリ等を拒否したため、旧知の病院に転院しました。

院長先生の、「人生の晩年期における立花先生のご病状の回復を積極的な治療でめざすのではなく、少しでも先生の全身状態を平穏で、苦痛がない毎日であるように維持していく」というお考えのもとで入院を続けました。4月30日 夜 ナースコールで呼ばれた看護師さんが、異常を感じ、院長先生にすぐ連絡を取られましたが 先生の到着を待たずに急逝いたしました。かねてより 糖尿病による脳動脈硬化と冠動脈硬化の危惧がありました。

生前、コロナウイルスには感染しておりません。

4. 葬儀・通夜 : 2021年5月4日（火）

故人並びに遺族の意志により、家族葬にて執り行われました。
埋葬は樹木葬。場所は 非公開とさせていただきます。

立花隆著『知の旅は終わらない』（文藝春秋、2020）より抜粋

死んだ後については、葬式にも墓にもまったく関心がありません。どちらも無いなら構いません。(略) 昔、伊藤栄樹という(略)有名な検事総長が『人は死ねばゴミになる』という本を書きましたが、その通りだと思います。もっといいのは「コンポスト葬」です。(略) そうすれば、微生物に分解されるかして、自然の物質循環の大きな環の中に入っていきます。海に遺灰を撒く散骨もありますが、僕は泳げないから海より陸のほうがいい。コンポスト葬も法的に難点があるので、妥協点としては樹木葬（墓をつくらず遺骨を埋葬し 樹木を墓標とする自然葬）あたりがいいかなと思っています。生命の大いなる環の中に入っていく感じがいいじゃないですか。

立花ゼミ生有志のお別れのページ（仮称）
アドレス：<https://tachibana.rip>

生前、活動していた立花事務所はすでに閉所いたしました。上記、ゼミ生のお別れページに掲載されている情報以外につきましてはお答えいたしかねます。また本人の強い希望もあり、弔問、御香典・御供花の儀は固くご辞退申し上げます。

（受け取り人不在で返送されることになってしまいますので ご理解のほどよろしく願いいたします。）

橋弘道（隆志の兄）